

12/19金

## ALSOK株式会社と 避難所運営に関する 協定を締結



市民の安全・安心な避難所生活の確保を目的に、災害発生時などに避難所の警備をはじめとする運営支援や資機材の提供に関する協定を締結しました。

12/23火

## 春季全日本小学生男子ソフトボール大会 に出場する選手が市長を表敬訪問



予選会で第1位となり、3月に開催される第19回春季全日本小学生男子ソフトボール大会(全国大会)に出場する東内野少年ソフトの選手が市長を表敬訪問し、意気込みを語りました。

12/16火

## 芝児童センターへの寄贈



川口宅地建物取引業協同組合から芝児童センターへ卓球台を寄贈いただき、市長が感謝状を贈呈しました。

12/26金

## 川口市社会福祉協議会への寄附



川口子どもクラブ育成会の各部代表の小学生が、各家庭などから寄せられた募金を直接市長へ手渡しました。

12/19金

## 東京2025デフリンピック サッカー競技男子 銀メダル獲得報告



東京2025デフリンピックサッカー競技男子で日本代表として活躍し、銀メダルを獲得した川口市ゆかりの選手(左から林澁大選手、岡田拓也選手、岡田侑也選手、原口凌輔選手)が市長を表敬訪問し、大会結果を報告しました。

12/18木

## 文部科学大臣表彰 受賞報告



令和7年度学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰)学校保健の部で表彰された安行中学校の生徒たちが市長を表敬訪問し、日々の取り組みなどを報告しました。

12/26金

## 国土交通省 地域づくり表彰 審査会特別賞 受賞報告



令和7年度地域づくり表彰審査会特別賞を受賞した「新井宿駅と地域まちづくり協議会」の皆さんが市長を表敬訪問し、これまでの取り組みなどを報告しました。

12/11(木)～15(月)

## 拉致被害者・特定失踪者写真展

北朝鮮人権侵害問題啓発週間に合わせ、中央図書館で開催。政府認定拉致被害者である田口八重子さんのほか、特定失踪者の写真などを展示し、拉致問題の早期全面解決を訴えました。



12/25木

## オートレースの選手が 川口市へ寄附



(一社)全日本オートレース選手会埼玉支部に所属する選手から、川口市へふるさと寄附と児童虐待防止に関する寄附をいただき、市長が感謝状を贈呈しました。

12/19金

## 埼玉県中学校 新人体育大会(ラグビー) 優勝報告



令和7年度埼玉県中学校新人体育大会で優勝した川口ラグビースクール(中学生)の選手が市長を表敬訪問し、大会結果を報告しました。



1/6火

## 新春交礼会



第二本庁舎で開催。各種団体や町会・自治会関係者などが参加し、アルパ奏者の金子芽生さんによる演奏などを行い、新年の門出を祝いました。

1/12祝

## はたちの集い

成人の日には川口オートレース場で開催。晴れ着や真新しいスーツに身を包んだ3,514人が参加し、それぞれの目標に向かって新たな一歩を踏み出しました。



▲はたちの集い実行委員会



1/7水

リリア催し広場  
ネーミングライツ発表会

第二本庁舎で開催。川口総合文化センター・リリア催し広場のネーミングライツパートナー契約を株式会社河合楽器製作所と締結し、愛称は「KAWAIリリアホール」に決定しました。命名権料の一部として提供いただいたグラントピアノは同ホールに設置します。



12/14日

第20回小学生「身近な生き物」  
絵画コンクール表彰式

小学1～3年生に自然の面白さに気付いてもらうことを目的に開催。入選作品3000点は12月10日～14日にアトリアで展示され、上位入賞者に対し表彰状を授与しました。



川口市の

官民連携地域情報ウェブサイト

トウカワダ



川口の  
さまざまな情報を  
掲載しています。



ぜひご利用ください

暮らしに役立つ情報が満載  
きらり川口情報メール



## ワンポイント 手話講座

今月は「節分」と「鬼」を紹介します。

## ①節分

升に入れた豆をまく様子を表します。



## ②鬼



両手の人さし指を頭の両脇にあてます。

障害福祉課

048-259-7926

FAX 048-259-7943

型にはまらない  
漫画界の真打ちだ！  
SHINN UCHIDAさん

漫画ライブペインター

日本が世界に誇る文化「漫画」。川口市在住のSHINN UCHIDAさんは、自身の背を超える大きな壁面に油性マーカー「マッキー」を駆使し、即興で漫画を描く漫画ライブペイント」を各国で披露する世界唯一のパフォーマーだ。小さい頃から絵を描くことが好きだった。小学6年生になると自分のお小遣いで画材をそろえて漫画を描きはじめて、中学1年生の時には出版社の漫画賞に投稿したことも。本格的に漫画家を目指すようになったのは大学生の時。高校・大学と美術系の学部で学び、美術教師を志していた中、大友克洋氏の代表漫画「AKIRA」と出会った。「自分もこんな絵を描きたい、漫画家になりたい」という決意、卒業後は生まれ育った静岡を離れ上京。友人が住む川口に居を構えた。仕事の傍ら漫画を描き続ける毎日。一度は月刊漫画雑誌で佳作を受賞し掲載されたものの、連載を勝ち取るのが難しい。20代で花開けなかつたら連載を目指すのは諦めようと思ったのと同じ時期に、編集者から言われた「もう漫画家は諦めた方がいい」という一言で漫画家としての人生に区切りをつけた。そんなある日、デザインフェスタへ出ようかと調べていたところ、ライブペイントブースへの出展募集が目にとまった。「珍しいしやってみようかな」。半ば勢いで申し込み、培ってきた漫画の画力と「マッキー」を武器に、36×21mの壁面パネルに2日間かけて「生」で大きな漫画を描きあげた。紙に描くのと壁に描くのでは、大きさやペンを置く角度も違いますが、なぜかすんなり描けました。この挑戦を皮切りに漫画ライブペインターとしての活動を開始。世界に向けたインスタグラム投稿も英語で始め、徐々に注目を浴びるようになり、3年経った頃には海外のコミックイベントへの出演依頼が来るようになった。

（会）  
コロナ禍が収束し、再び世界各国からイベントへの出演依頼があり、既に17カ国を回っている。ライブペイントだけでなく、ドイツ大使館へのウォールアートや、Googleベルリン支社での社員向け講演会など活躍の場を広げ、多くの実績を積み上げている。ライブペイントを始めて丸10年。「ライブペイントで世界中に行くことはもちろんですが、漫画大国である日本で自分の作品集を出版することが夢です」。一つの壁から始まったSHINN UCHIDA伝説はまだ序章に過ぎない。

